

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地		
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番1他 (電話) 042-637-3111		
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地		
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目 的		土木、造園に関する基礎的な知識と応用力、コミュニケーション能力、土木・造園施工管理技士や造園技能士などの資格取得能力の育成を目標とし、ものづくりの魅力とやりがいを追求できるような実習を通じて実践的な技術を身につけ、地域社会や地域環境に貢献できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与		
工業	工科技術専門課程	土木・造園科	2年・(昼)	1815単位時間 (又は93単位)	平成25年文部科学大臣告示号外第17号	—		
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技		
		975単位時間 (又は64単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1080単位時間 (又は36単位)	単位時間 (又は単位)		
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
120人		140人		3人		14人		17人
学期制度		■前学期：4月1日～9月30日 ■後学期：10月1日～3月31日		成績評価		■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定		
長期休み		■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月23日～翌年1月8日 ■春 季：3月18日～3月31日 ■学 年 末：3月31日		卒業・進級条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		

生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動 (有・無)
就職等の状況	■主な就職先、業界等 (株)熊谷組、大林道路(株)、成友興業(株)、鹿島道路(株)、里美園 ■就職率^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 92.5% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者に関する平成26年4月時点の情報)	主な資格・検定	一・二級土木施工管理技士 一・二級造園施工管理技士 一・二級建築施工管理技士 一・二級管工事施工管理技士 二・三級造園技能士
中途退学の現状	■中途退学者 6名 ■中退率 5.0% 平成25年4月1日在学者 119名 (平成25年4月入学者を含む) 平成26年3月31日在学者 112名 (平成26年3月卒業生を含む) ※休学1名含まず ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業が必要な人材を育成するために、企業へのヒアリングを随時行い、土木・造園分野の実務に関する知識や技術を調査し、授業科目の改善や内容の工夫を行う。更に、授業科目のシラバスを基に科目担当教員と企業講師の間で意見交換を行い、授業内容や評価方法を定める。現在の建設業界で必要なスキルを身につけられるよう、常に授業内容や方法を検証することにより、実践的かつ専門的な職業教育を目指す。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
岡本 賢	一般社団法人 日本建築美術工芸協会 会長	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校 学校長	平成27年3月31日
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長 カレッジ長	平成27年3月31日
福田 守	日本工学院八王子専門学校 テクノロジーカレッジ総轄科長	平成27年3月31日
上田 耕作	日本工学院八王子専門学校 土木・造園科 科長	平成27年3月31日
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 係長	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年3月25日 10:00～12:00

第2回 平成26年8月27日 10:00～12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

建設業界の中の土木・造園の分野に関する実践的な実習・演習を行うため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。企業等との打ち合わせにより、企業等のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定し、目標を明確にする。企業等からの派遣講師による実践的な実習・演習を実施後、企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
造園実習1	土壌の特性、肥料の配合、地ごしらえ、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽の工法について実習を通じて学びます。	株式会社 日動計画
CAD製図2	2次元CADを活用し、平面図、立面図など設計図面の基礎的な作成方法を学びます。	有限会社 水都環境

3. 教員の研修等

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、「企業等連携研修に関する規定」における目的に沿って、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を習得する。また、年度末に学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月22日現在

名 前	所 属	任 期
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー	平成27年3月31日
細谷 幸雄	八王子商工会議所 事務局長	平成27年3月31日
森 健介	白梅学園高等学校 副校長	平成27年3月31日
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成27年3月31日
石川 仁嗣	医療法人社団健心会みなみ野ハートクリニック 事務長	平成27年3月31日
杉山 一夫	株式会社リンキィディンク 代表取締役	平成27年3月31日
松浦 弦三郎	松浦技術士事務所 代表	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.nhac.ac.jp/news/131129/nhac_report.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木・造園科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			ビジネススキル 1	社会人に必要な一般常識やマナーを学びます。また、ビジネス能力検定の対策もあわせて学びます。	1 前	30	2	○		
○			構造力学1	土木で使用する数学の基礎、および構造物が安全に作られるための構造計算の基礎を学びます。	1 前	45	3	○		
○			測量学	測量の目的と各種測量内容を理解し、現場でどのように役立てるかを学びます。	1 前	45	3	○		
○			土木材料	土木工事で使用する材料、コンクリート、骨材、鋼材、歴青材料等の特性について学びます。	1 前	45	3	○		
○			造園技術1	造園史、庭園の種類、造園器具、基礎工、植栽等について学びます。	1 前	45	3	○		
○			造園材料	造園で使用する材料、石材、木材、繊維材料、植物の種類と特性について学びます。	1 前	45	3	○		
○			測量実習1	各種器具の取り扱い方法、距離測量、平板測量、水準測量、トラバース測量について実習を通じて学びます。	1 前	60	2			○
○			土木製図	製図の基礎、三面図から土木の基本的な図面について写図を行いその機能を学びます。	1 前	60	2			○
○			造園実習1	土壌の特性、肥料の配合、地ごしらえ、樹木の植栽、草花の植栽、地被植物の植栽の工法について実習を通じて学びます。	1 前	60	2			○
		○	建設機械1	土木施工、造園施工で使用する建設機械の免許を取得するための講習を実施します。	1 前	30	1			○

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木・造園科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
		○	3級造園技能士 対策講座	3級造園技能士合格のための対策を行います。	1 前	60	2			○
		○	国内研修1	歴史的建造物、構造物、庭園を見学し、今後の設計に役立てます。	1 前	30	1			○
○			ビジネススキル 2	就職するための心構え、自分にあった就職先の選び方など就職活動に必要な事柄を学びます。	1 後	30	1	○		
○			構造力学2	構造物が安全に作られるための構造計算、およびRC構造、鋼構造について学びます。	1 後	45	3	○		
○			水理学	水の性質、静水圧、水の運動、水路管について学びます。	1 後	45	3	○		
○			土木計画	国土の利用計画、交通計画、治水、利水、都市計画など計画全般を学びます。	1 後	45	3	○		
○			造園技術2	造園史、庭園の種類、造園器具、基礎工、植栽等について学びます。	1 後	45	3	○		
○			CAD製図1	コンピュータの基礎知識、図面を書く操作について学びます。	1 後	60	2			○
○			測量実習2	測量実習1で習得した技術をもとに、路線測量、工事測量について実習を通じて学びます。	1 後	60	2			○
○			造園設計	造園設計の基本的な考え方を習得し条件に沿った設計について実習を通じて学びます。	1 後	60	2			○

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木・造園科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			造園実習 2	剪定、刈込、地被植物の管理、施工の基礎について実習を通じて学びます。	1 後	60	2			○
		○	建設機械 2	土木施工、造園施工で使用する建設機械の免許を取得するための講習を実施します。	1 後	30	1			○
○			ビジネススキル 3	就職するための心構え、自分にあった就職先の選び方など就職活動に必要な事柄を学びます。	2 前	30	2	○		
○			土木施工管理技士資格対策 1	土工、コンクリート工、基礎工から施工管理全般を学ぶほか、2級土木施工管理技士の資格対策を行います。	2 前	60	4	○		
○			土木施工管理技士資格対策 2	各種土木構造物の施工法を学ぶほか、2級土木施工管理技士の資格対策を行います。	2 前	60	4	○		
○			土質工学	土の物理的性質、圧密、土の物理的性質、地盤の調査について学びます。	2 前	45	3	○		
○			造園技術 3	造園の施工計画、施工方法等について学びます。	2 前	45	3	○		
○			造園施工管理技士資格対策	各種造園施設の施工法、施工管理を学ぶほか、2級造園施工管理技士の資格対策を行います。	2 前	60	4	○		
○			CAD 製図 2	2次元 CAD を活用し、平面図、立面図など設計図面の基礎的な作成方法を学びます。	2 前	60	2			○
○			材料実験	土木の代表的な材料のコンクリート、鋼について、物理的および力学的実験を行いその特性を学びます。	2 前	30	1			○

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木・造園科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			施工実習	U字溝・ブロックの据付、丁張りの設置など実際に土木構造物を施工します。	2 前	30	1			○
○			造園実習3	植栽、石組み、垣根など造園施工全般について実習を通じて学びます。	2 前	60	2			○
		○	2級造園技能士 対策講座	2級造園技能士合格のための対策を行います。	2 前	60	2			○
		○	国内研修2	歴史的建造物、構造物、庭園を見学し、今後の仕事に役立ちます。	2 前	30	1			○
○			造園技術4	害虫の駆除、高木の管理、公園の分類について学びます。	2 後	45	3	○		
○			施工演習	2級土木施工管理技士、2級造園施工管理技士合格のための資格対策講座を実施します。	2 後	45	3	○		
○			積算演習	土木工事、造園工事で使用する材料数の求め方、工事代金の項目、内訳などについて学びます。	2 後	30	2	○		
○			環境学	地球を取り巻く環境の変化、負荷の軽減、廃棄物の処理などについて学びます。	2 後	45	3	○		
○			建築概論	建築構造、計画、法規等について学びます。	2 後	45	3	○		
○			造園実習4	剪定、刈込、地被類の管理、高木の管理について実習を通じて学びます。	2 後	60	2			○

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木・造園科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			総合実習	土木・造園分野に分かれ今までに習得した技術を用いて設計を行います。	2 後	60	2			○
○			卒業制作	2年間の集大成として構造物の設計、庭園の設計、模型制作などを行います。	2 後	120	4			○
合計				42 科目		2055 単位時間	(101 単位)			